

次亜塩素酸水溶液対応 超音波噴霧器

MODEL:KS-3050S



お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐ為の重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に製品をお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店または弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。

定期的に点検する



安全及び性能維持の為にも、お買い上げ時とその後1年に一度は安全点検を行ってください。

万一、異常がおきたら

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大ケガなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり周辺の家財に損害を与える事があります。

●注意を促す記号



火 災



感 電

●行為を禁止する記号



禁 止



分解禁止

●行為を指示する記号



接触禁止



下記の注意を守らないと

火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

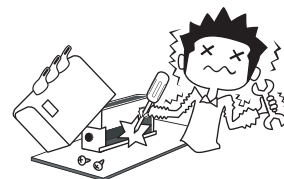
内部には電圧の高い部分があり、不用意にフタを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検や消耗品の交換、修理はお買い上げ店または当社サービスセンターまでご依頼ください。

※当社の許可なく開封または改造、規格変更をして使用した場合、保証対象外となり有償修理になる場合がありますので、予めご了承ください。



分解禁止



内部に水や異物を入れない

内部水槽以外に液体が入ったり、本体内に異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合はすぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げ店または当社サービスセンターまでご依頼ください。



禁止



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店または当社サービスセンターまでご依頼ください。



禁止

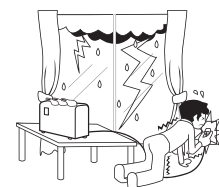


雷がなりだしたら電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止



水のある場所に置かない

内部水槽以外に水が入ったり、ぬれたり、風呂場、屋外などで使うと火災や感電の原因となります。また、雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。



禁止



火中に投げたり、温湿度の高い場所で使わない

指定の使用温度範囲温湿度以外で使用すると、内部回路の漏電・発熱などで故障や発火の恐れがあります。



禁止



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



接触禁止



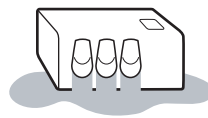
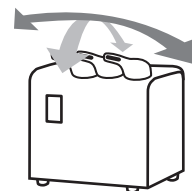


下記の注意を守らないと

火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

傾斜・転倒させないように取扱う

液体が入った状態で本体を全方向30度以上に傾けると、内部水槽の液体がこぼれる恐れがあり、感電や故障の原因となります。



本体から水が漏れていたらずぐ電源プラグを抜き、修理を依頼する

本体が故障した時や揺らしたり倒したりした場合、液体が漏れることがあります。感電する恐れがありますので、必ずすぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、内部の液体を抜き取ってから修理依頼をしてください。



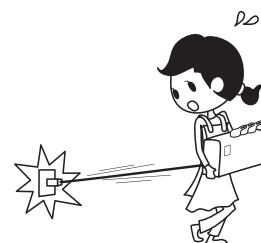
プラグをコンセントから抜く

移動させるときは電源プラグと液体を抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。運ぶときは衝撃を与えないようにしてください。また液体を入れたまま移動すると、液体がこぼれたり場合によっては内部回路に液体が入り込み、故障や感電の恐れがあります。

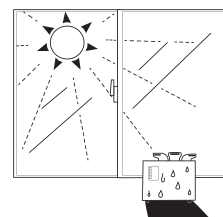


プラグをコンセントから抜く



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所 熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する

電源コードは足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っ掛けたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置をしてください。



当社認定の液体以外は使用しない

当社認定の液体以外を使用しないでください。認定以外の液体（水道水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・化学薬品・芳香剤等）を使用した場合、故障の原因となります。また、レジオネラ菌等、雑菌やカビが繁殖する可能性があり、これらが空中噴霧されると健康を害する恐れがあります。最悪の場合、死亡・重篤になる可能性がありますので絶対におやめください。アルコールや石油などの引火性溶剤は引火や爆発の恐れがありますので絶対におやめください。



⚠注意 次亜塩素酸水溶液は次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めたものではありません。

古くなった液体は使用しない

古くなった液体は除菌・消臭効果が減少しますので使用しないでください。





下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**のを与えたりする事があります。

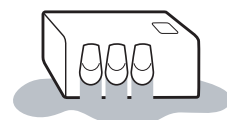
安定した場所に設置し、落下・転倒防止対策を必ず行う

ぐらついた台の上や傾いたところになどに置いたり、落下・転倒防止対策を行わない場合は、製品が落ちたり転倒したりして、けがや家財及び本機の破損の原因になります。



傾斜・転倒・落下させないように、ていねいに取扱う

本機は精密な部品で構成されていますので、落下や転倒させると内部の機器（ファン・発生管等）の破損の原因になります。また、液体が入った状態で本体を全方向30度以上に傾けたり倒したりすると、内部水槽の液体がこぼれる恐れがあり感電や故障の原因となります。



吹出口や吸気口をふさがない

ふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本来の性能を発揮できなくなります。製品の周囲には物を置かないでください。

- 布や布団の上に置いたり、かぶせたりしない
- 正しく設置する（倒したりしない）



長期間ご使用にならない時は、電源プラグと液体を抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、内部の液体を抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

吹出口を装着しないで運転しない

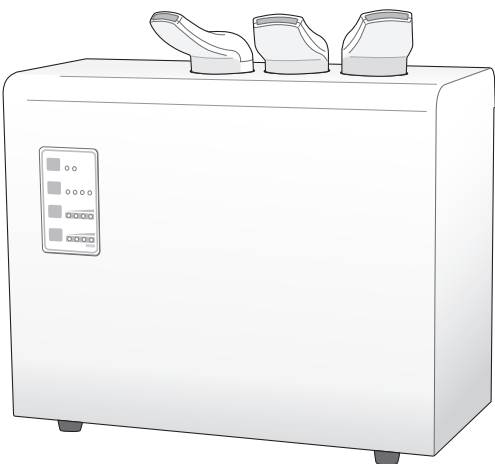
吹出口を取り付けない状態で運転すると液体が飛び散り周囲を濡らすばかりか、本体内部に液体が侵入してしまいます。本体内部に液体が入ると故障や感電の恐れがあります。



本機の特徴

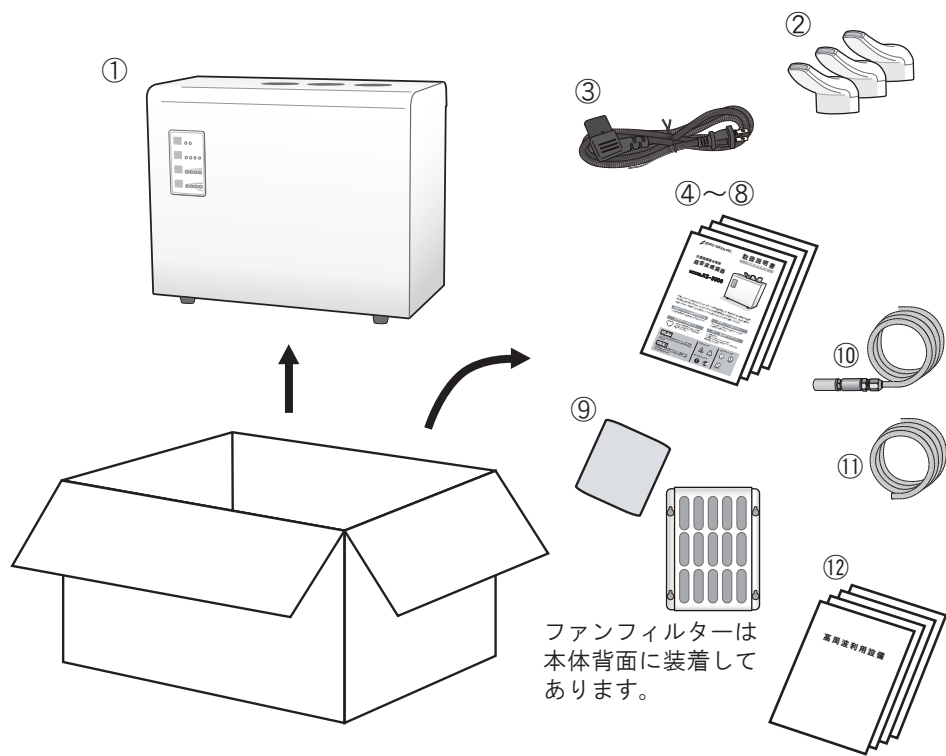
本機は超音波を利用し、次亜塩素酸水溶液を効率良く噴霧することができます。噴き出す霧は熱くなくやけどの心配がないため、どなたにも安心してご使用いただけます。

インターバル機能(間欠運転)を使用することで液体の使用量を大幅に削減できます。



開梱と梱包内容確認

箱から付属品と取扱説明書、本体を取り出します。



梱包内容

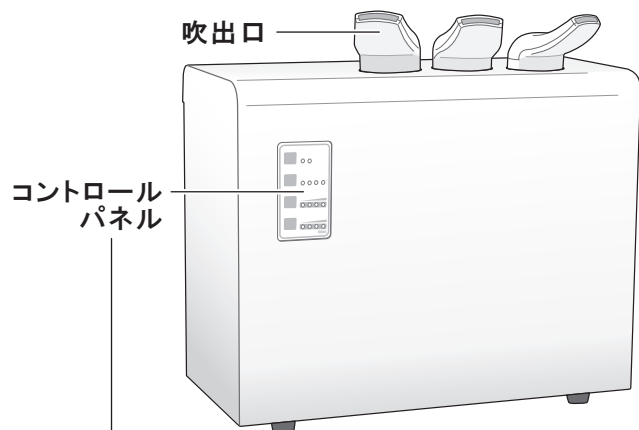
- ① 本体……………1
- ② 吹出口……………3
- ③ 電源コード……………1
- ④ 取扱説明書(本書)……………1
- ⑤ お手入れマニュアル……………1
- ⑥ 給水についてのご注意……………1
- ⑦ 保証書……………1
- ⑧ リペアリクエスト……………1
- ⑨ ファンフィルター
(本体に装着済)……………1
- ⑩ 給水ホース《1.5m※》
(ストレーナ付)……………1
- ⑪ 排水ホース《1m》……………1
- ※1.5m以上のホースは別売です。
販売店にご相談ください。
- ⑫ 高周波利用設備
許可申請書(一式)……………1

品物に不足がないか、また機器に破損等ないかをお調べください。
(万一、欠品・不具合等がありましたら販売店にご連絡ください)

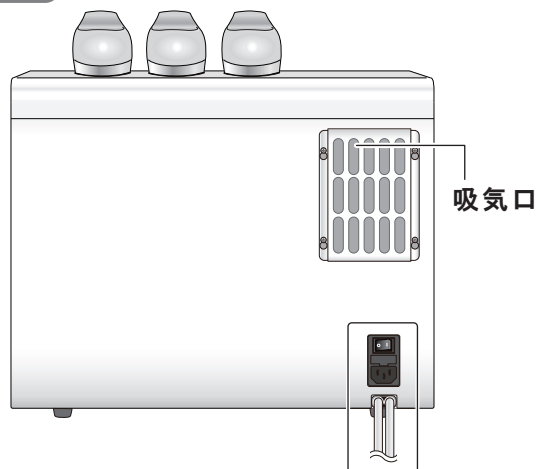
箱は修理や点検の際、再度使用しますので大切に保管してください。

各部のなまえとはたらき

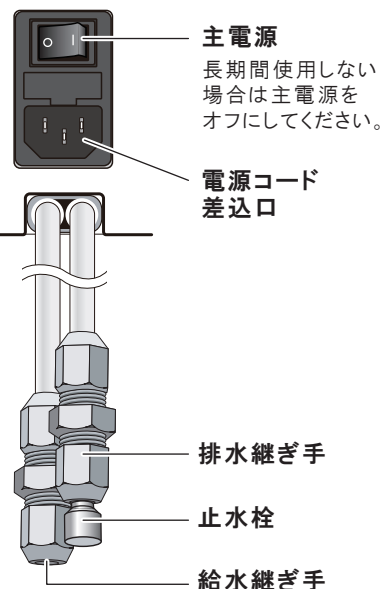
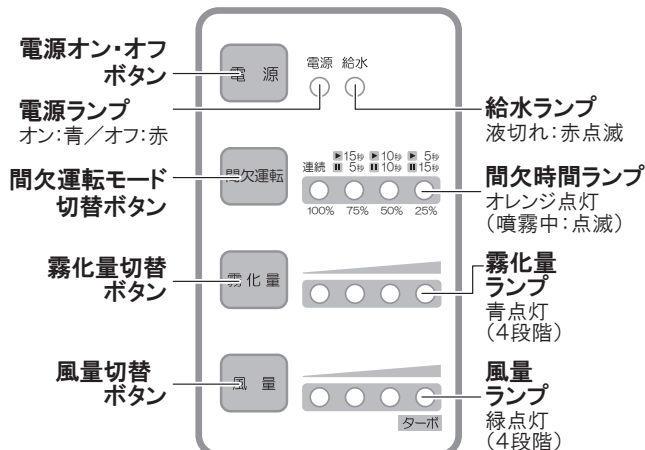
正面



背面



コントロールパネル



●電源オン・オフボタン/給水ランプ



- 電源ボタンを押す→「入」電源ランプ:青点灯
動作中に押す→「切」電源ランプ:赤点灯

- 給水ランプ ■本体に液体がない→赤点滅(0.5秒間隔)
■本体異常→赤点滅(2秒)※修理が必要です。

●霧化量切替ボタン



- 4段階で霧の発生量を調節することができます。
※霧の発生量は10ページをご覧ください。

●間欠運転モード切替ボタン



- 「連続」「15秒噴霧5秒停止」「10秒噴霧10秒停止」「5秒噴霧15秒停止」の4つの運転モードが選択できます。

※動作内容は8ページ、各モードの液体消費量は10ページをご覧ください。

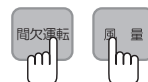
●風量切替ボタン



- 4段階で風量を調節することができます。
※風量を最大(ターボ)で使用时に、まれに水滴が吹出口から飛び出ることがあります。

「チャイルドロック」機能

本体コントロールパネルのボタン操作をロックすることができます。



- 「間欠運転」「風量」ボタンを同時に押す→設定

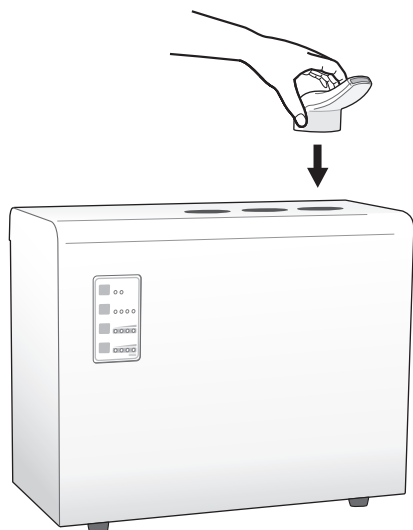
本体コントロールパネルのボタンが無効になります。

※チャイルドロック設定中は、本体コントロールパネルの電源ランプが点滅します。

- 設定中に「間欠運転」「風量」ボタンを同時に押す→解除

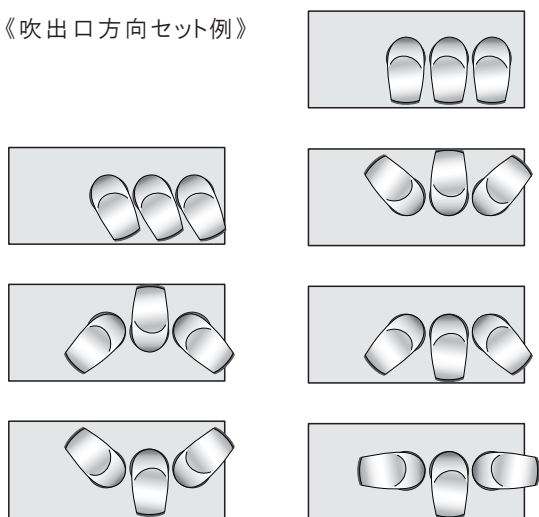
くみたて

- 1 本体に吹出口(3個)を取り付けます。



- 2 吹出口は様々な方向へ向けることができます。用途に応じて最適な方向にセットしてください。

《吹出口方向セット例》



※万が一、吹出口が破損してしまった場合は別途お問い合わせいただけますので、「別売部品(裏表紙)」をご覧ください。

警告

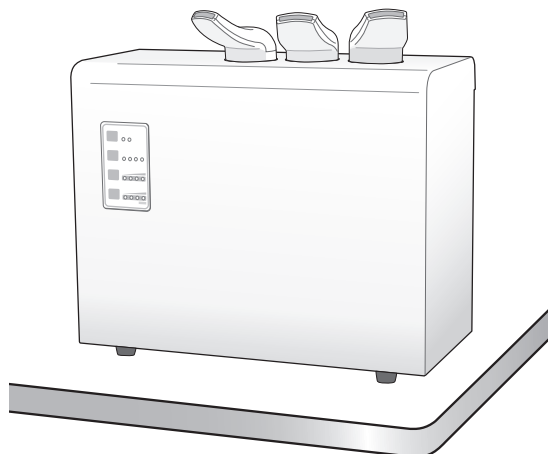
吹出口をはずしたまま使用しない



吹出口を取り付けずに状態で運転すると、液体が飛び散り周囲を濡らすばかりか、本体内部に液体が侵入してしまいます。本体内部に液体が入ると故障や感電の恐れがあります。

設置方法

- 1 本体を安定した丈夫で平らな場所に設置してください。



- 2 万が一の転倒・落下事故に備え、転倒・落下防止対策を行ってください。

注意



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いた場所に設置すると、製品が落下してけが・故障の原因となります。必ず安定した平らな場所に設置してください。



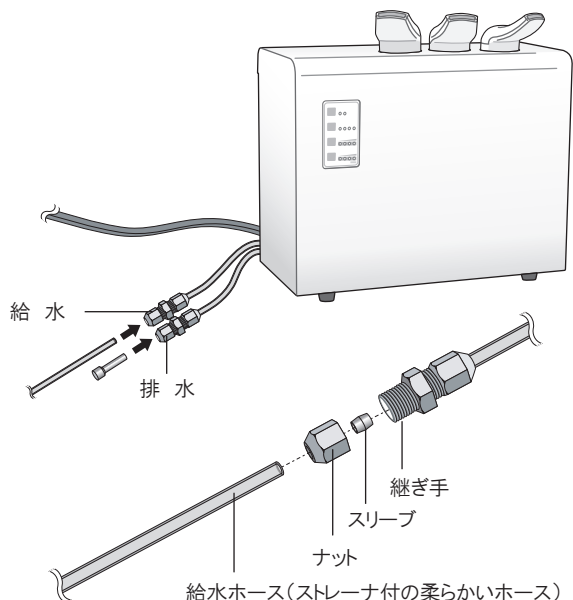
転倒・落下防止対策をすること

据置にて設置した際、転倒や落下を防止するためにも、必ず転倒・落下防止金具や耐荷重が十分なチェーン(市販品)を適正に使用してください。壁面への固定は、万が一落下・転倒した時、本機の重さ(液体が入った状態で約11kg)に十分耐えられるネジ止め強度を確保できる場所を選んで取り付けてください。

設置方法

3

本体に給水ホースを接続します。

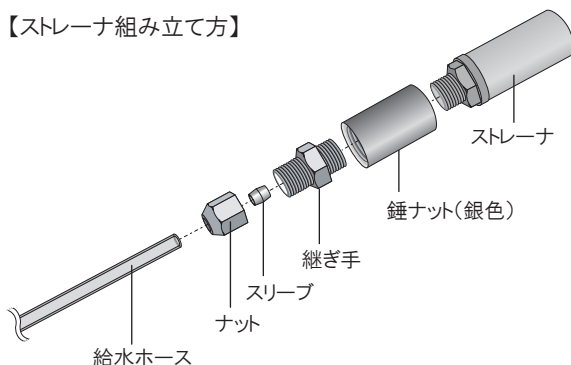


●給水継ぎ手のナットを反時計方向へ回してナットを取り外してください。給水ホースを図のように継ぎ手にまっすぐ差し込みます。奥までしっかりと差し込んでナットをしっかり締めてください。

※スリーブを入れ忘れたり、ホースを奥まで差し込まなかった場合は空気を吸い込んでしまい、液体が吸い上がらないことがあります。確実に接続してください。

※ナットが外れない場合は工具等をお使いください。

【ストレーナ組み立て方】



●上図のように組み立ててください。
工場出荷時は組み立ててあります。

重要

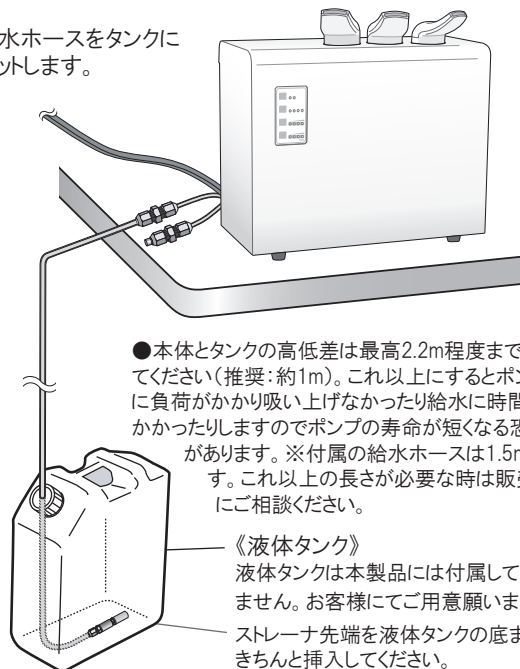
ストレーナ未装着で運転しないこと



ストレーナを装着しないとゴミなどの異物がホースや給水ポンプに詰まり、故障の原因となります。ゴミなどの異物が詰まった場合、保証期間内でも有償修理となりますので必ず装着してください。

4

給水ホースをタンクにセットします。



●本体とタンクの高低差は最高2.2m程度までにしてください(推奨:約1m)。これ以上になるとポンプに負荷がかかり吸い上げなかったり給水に時間がかかったりしますのでポンプの寿命が短くなる恐れがあります。※付属の給水ホースは1.5mです。これ以上の長さが必要な時は販売店にご相談ください。

《液体タンク》

液体タンクは本製品には付属しておりません。お客様にてご用意願います。ストレーナ先端を液体タンクの底まできちんと挿入してください。

【ご注意】 給水ホースを折り曲げたり物等で踏み潰さないでください。給水不良の原因となります。

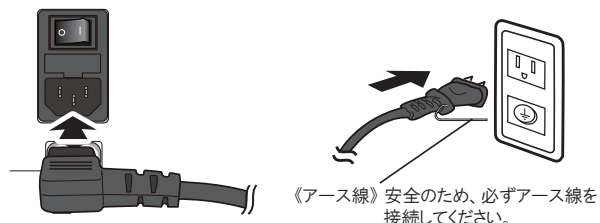
重要

液体の濃度・pHをご確認ください

【濃度】80ppm以下 【pH】5.5～7.5

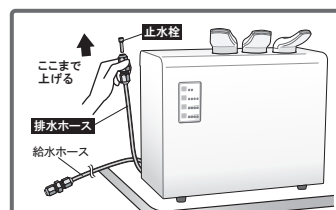
5

電源コードを本体に差し、電源プラグをコンセント差し込みます。



《アース線》安全のため、必ずアース線を接続してください。

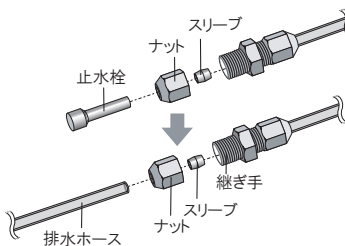
【液体の排出方法】



●排水継ぎ手のナットを反時計方向に回し止水栓を抜いてください。

●本体より上に持ち上げてから止水栓を抜いてください。本体より下で抜くと、抜いた直後に水が流れ出てしまいます。

●付属の排水ホースを接続し液体を排水してください。
※排水ホースを接続しないと排水しにくい場合があります。
※本体内部の液体が若干残る場合がありますので、最後に本体を傾けて全て排出してください。
●排水完了したら、逆の手順で戻してください。
※スリーブを必ず使用し止水栓を奥まで挿入し、ナットはしっかりと締めてください。水漏れの原因となります。



警告

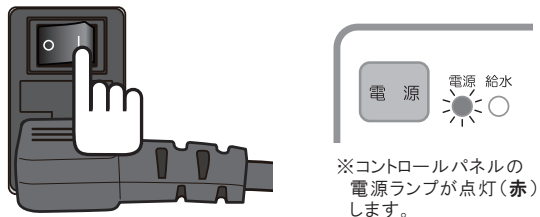


感電防止のため、排水作業は電源プラグを抜いてから行ってください。

操作方法

1 電源投入

- 本体背面の主電源スイッチをONにします。

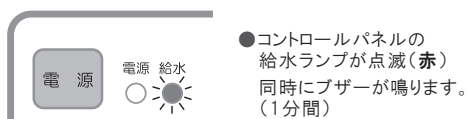


- コントロールパネルの「電源」ボタンを押します。



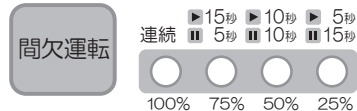
- 内蔵ポンプが動き出し、液体タンクから液体を給水開始します。
※まだ霧は発生しません。ただし、本体内に液体が充分ある場合は、電源ONですぐ霧が発生します。
- 液体が本体内の水槽に一定の水位まで給水されると、自動的に霧が出て運転を開始します。本体内にまったく液体が無い状態からの給水の場合、運転開始まで約3～6分程度かかります。なお、設置状況によってはもっと時間がかかる場合があります。(本体と液体タンクの高低差が大きい程時間がかかります)
- 自動的に運転を開始しても、まだ給水ポンプは止まりません。満タンになると自動的に給水を停止します。
- 本体内の液体が減少してくると自動的に給水を始めます。満タンになると給水を停止します。

「給水」表示について



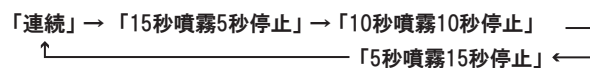
- タンク内に液体が少ない(もしくはまったく無い)状態では内蔵ポンプが液体を吸い込むことができないので、空運転状態になります。ポンプが約2分動作すると「液切れ」または「給水トラブル」と判断し、「給水」ランプが点滅します。
タンクに液体が無い場合は液体を補充してください。また、タンクに液体があっても給水ができない場合があります。給水チューブの折れ曲がりや接続不良、またはチューブがきちんと挿入されていない等の可能性がありますので、P10および同梱の「給水についてのご注意」をご参照いただき、原因を取り除いてください。
- 本機搭載のポンプは空運転(水無運転)をしても壊れませんが、給水ポンプは約2分運転し続けると自動的に停止します。これはポンプの保護・液切れ検知・給水トラブル検知機能ですので故障ではありません。
- 一度「給水」ランプが点滅すると自動で復帰しません。電源をオフにし、再度オンにすると復帰します。

2 間欠運転切替

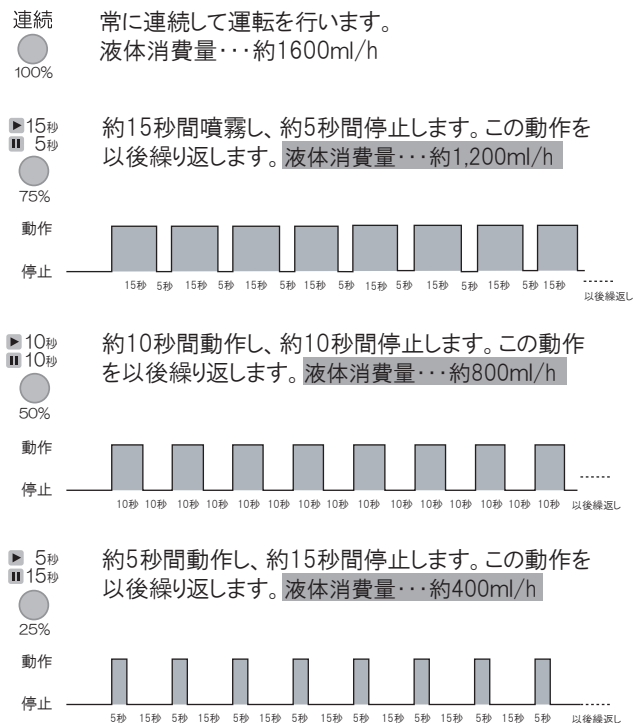


- 本機には液体の消費を節約することができるインターバル運転(間欠運転)機能が搭載されています。使用する室内の広さや用途に応じて各モードを選択してください。各モードの動作は下記を参照してください。
※液体消費量は10ページの表をご覧ください。

- 「間欠運転」ボタンを押すごとに次のように切り替わります。



- ※ランプ色: オレンジ
- ※初期状態は「連続」です。
- ※噴霧中はランプが点滅します。



- 運転・停止時間はおよその時間です。表示秒数より前後する場合がありますが、仕様ですのでご了承願います。
※液体消費量は概ねの目安です。休止時間の誤差や、室温・湿度等の要因により大幅に消費量が変わる事がありますのでご了承ください。
※上記の液体消費量は最大設定時の数値です。風量「小」の場合、消費量は減少します。
- 本機は停止時の設定を記憶します。次回運転時は前回設定値で運転します。(間欠運転・霧化量・風量)
※電源コードをコンセントから抜いても設定は保持します。

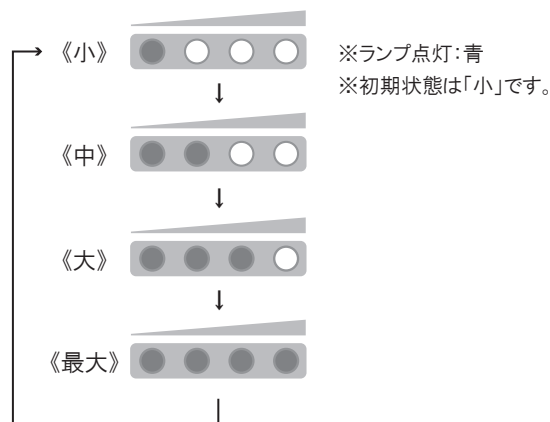
操作方法

3 霧化量調節



- 4段階で霧の発生量を調節することができます。使用する室内の広さや用途に応じて選択してください。
- また、間欠運転とあわせて使用すると液体の節約が可能になります。
- ※液体消費量は10ページの表をご覧ください。

■「霧化量」ボタンを押すごとに次のように切り替わります。

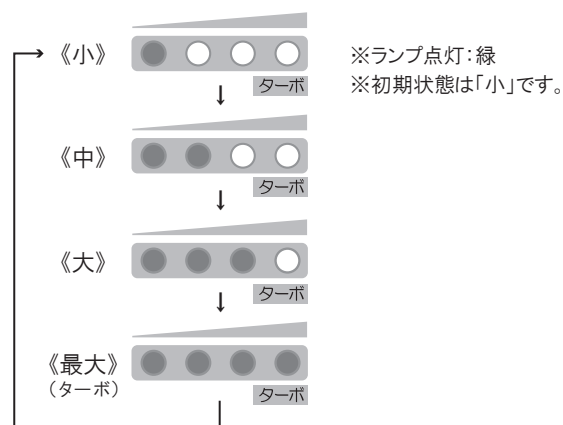


4 風量調節



- 4段階で風量を調節することができます。使用する室内の広さや用途に応じて選択してください。

■「風量」ボタンを押すごとに次のように切り替わります。



⚠ 注意 床濡れにご注意ください

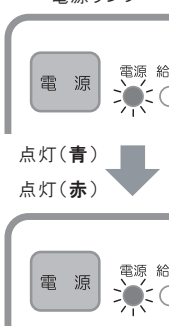
風量を最大「ターボ」でのご使用時は、まれに吹出口から液体の粒が飛び出し、まわりを濡らす場合があります。床が濡れて滑りやすくなると危険です。家具や電気製品等を濡らした場合、影響が出る恐れがありますので、適切な風量に調節してご使用ください。

5 動作を止める

- コントロールパネルの「電源」ボタンを押します。



コントロールパネルの電源ランプ



- 長期間使用しないときは、本体内部の液体を排出し、主電源もオフにしてください。

設定内容保持機能について

- 本機は停止時の設定を記憶します。次回運転時は前回設定値で運転します。(間欠運転・霧化量・風量)
- ※電源コードをコンセントから抜いても設定は保持します。

⚠ 重要

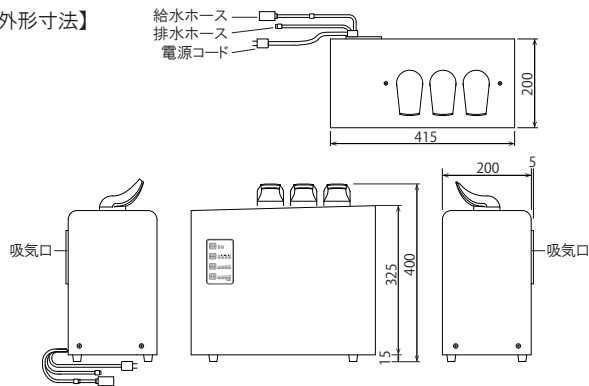
必ず「お手入れ」をしてから保管してください ※別紙「お手入れマニュアル」参照

本体内部に液体が残っていると液体が古くなり健康を害する恐れがあります。また機器の劣化を防ぐためにも、保管や長期間使用しないときは、必ずお手入れをしてから保管してください。

故障？その前に…

- 動かない、動作がおかしいなど故障と思われる場合、修理依頼をする前に本書をもう一度ご確認ください。
- Q. 霧が出ない
- A. ①電源スイッチは入っていますか？→電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているか、コントロールパネルの電源ランプが点灯しているか確認してください。
- ②液体はありますか？→液体を補給してください。
- ③給水中ではありませんか？→しばらくお待ちください。
- ④ホースが折れ曲がっていたり、何かに踏まれていませんか？→原因を取り除いて下さい。
- ⑤インターバル運転の「停止」状態の時ではありませんか？→「停止」時はランプが点灯、「噴霧」時はランプが点滅します。※8ページの「間欠運転切替」をご参照ください。
- Q. 給水しない
- A. ①液体はありますか？→液体を補給してください。
- ②ホースが折れ曲がっていたり、何かに踏まれていませんか？→原因を取り除いて下さい。
- ③給水ホースがきちんと接続されていますか？→ホースを継手の奥までしっかりと挿入し、液体タンクの下部までホースを挿入してください。
- ④ポンプチューブの寿命→交換が必要です。サービスセンターに修理依頼をしてください。
- Q. 霧が良く出ない
- A. ①認定液体以外を使用していないですか？→弊社認定の液体を正しくご使用ください。
- ②水温・気温・湿度が低くありませんか？→これらが低いと霧が発生しにくい場合があります。湿度が低い場合は、霧が発生してもすぐ気化してしまい、霧が見えにくい場合があります。
- ③新品時、振動子が馴染むまでは霧が出にくい場合があります。しばらく運転して様子を見てください。
- ④超音波ユニットの寿命→交換が必要です。サービスセンターに修理依頼をしてください。
- Q. 各吹出口ごと霧の出る量が違う、または出ない所がある
- A. ①本体が傾いて設置されていませんか？→水平な位置に正しく設置してください。
- ②超音波ユニットの寿命ではありませんか？→超音波振動子の寿命は概ね5,000時間です。使用環境や個体差により大幅に異なる場合があります。超音波振動子は消耗品ですが、交換はお客様にて作業できませんので弊社サービスセンター（お問い合わせ・修理依頼 窓口）までご連絡ください。※下記および裏表紙をご覧ください。

【外形寸法】



主な仕様

機器名称	【業務用】超音波噴霧器
型 式	KS-3050S
霧化ユニット数	3個(チタン被膜耐塩素仕様振動子)
霧 化 量	約1.6L/h(水温・周囲温度25℃時)
適用床面積	約120畳(条件により増減する可能性があります)
設置方式	据置型
吹 出 口	ABS製成型(3個)
風 量	最大0.4m ³ /分(4段階調整)
給水方式	内蔵給水ポンプによる外部タンク自給式(自動水位調節)
使用液体	次亜塩素酸水溶液(Hclo:80ppm以下/pH:5.5~7.5)対応
吸込揚程	推奨揚程約1m/最大2.2m ※1(高い程給水時間が長くなります)
給水水温	5 ~ 30℃
許容周囲温度	5 ~ 37℃
許容周囲湿度	80%RH以下(ただし結露無き事)
定格電圧	AC100V (50/60Hz)
許容電圧範囲	定格の90~110%
消費電力	最大250W/間欠運転待機時 5W
重 量	約10kg(給水時 約11kg)
外形寸法	左下図参照
電源コード	2m
コントロールパネル仕様	電源・給水表示・間欠運転切替・霧化量切替・風量調節
間欠運転モード	連続(100%)/75%/50%/25%
(インターバル機能)	インターバルの各動作時間は目安であり前後する場合があります。
付属品	電源コード2m・スプレー・給水ホース1.5m※1・排水ホース1m・吹出口3個
	ファンフィルター(本体装着済)
備 考	※1:最大吸込揚程は2.2mですが付属の給水ホースは1.5mです。 これ以上の長さが必要な場合は別売のロングホースをご購入ください。
加湿能力	木造住宅 27畳(44㎡) / プレハブ住宅 44畳(74㎡)
(加湿器として使用する場合)	(日本電機工業会規格JEM1426に基づき、20℃30%時の能力を表示)

※仕様は製品改良のため、予告無く変更になる場合があります。

【各設定の1時間あたりの液体消費量】

霧化量	間欠運転	連続運転	75%	50%	25%
小	800~900ml	600~675ml	400~450ml	200~225ml	
中	1150~1250ml	862~937ml	575~625ml	287~312ml	
大	1400~1500ml	1050~1125ml	700~750ml	350~375ml	
最大	1550~1650ml	1162~1237ml	775~825ml	387~412ml	

※上記の液体消費量は概ねの目安です。使用環境(室温・湿度・水温・水質・室内環境・電源電圧・製品個体差等の複合要素)によっては数値が大幅に変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ※風量「最大(ターボ)」の数値です。

【高周波利用設備 申請について】

本製品をご使用の際は、**総務省指定「高周波利用設備許可申請書」**の届出が必要です。

製品のご購入時、高周波利用設備の許可申請が必要な以下の必要書類が添付されております。

- 1. 高周波利用設備の申請手続きについて 1部
- 2. 高周波利用設備許可申請書 1部
- 3. 高周波利用設備許可申請書の添付書類 2部
- 4. 外観写真 2部

※申請の際、上記に加え

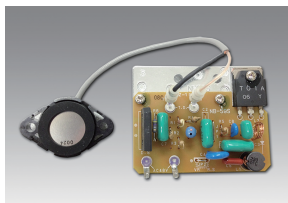
「設置場所付近の図面(2部)」 が必要です。

申請用紙に所定の事項を記入し、お客様にて
管轄の総務省地方総合通信局に届出を行ってください。

別売部品・消耗部品のご案内

長くお使いいただきますと、消耗部品の交換が必要となります。
本機の能力を最高に保つためにも、以下の消耗部品の定期的な交換をおすすめします。

- 本体内部の部品の取替えは専門的な知識が必要ですので、お客様にてお取替えはできません。当社サービスセンターまでご連絡のうえお送りください。
- 本体をサービスセンターにお送りいただく際の送料は、お客様にてご負担いただきますようお願いいたします。
- 部品価格は販売店または当社サービスセンターまでお問い合わせください。



■ 超音波ユニット

※本機には3個搭載されています



■ 超音波振動子



■ ポンプ



■ スイッチ



■ ストレーナー



■ 中継用継手



■ スリーブ



■ 止水栓



■ 吹出口(1個)

※本機には3個使用されています



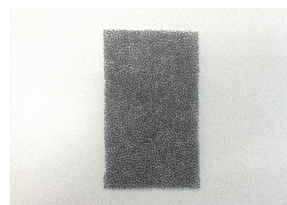
■ 給水ホース

1.5m/2m/2.5m



■ 排水ホース

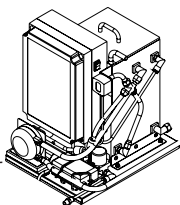
1.5m/2m/2.5m



■ フィルター

■ 自動希釈器 KS-MIXER01 別売オプション(受注生産品)

- 次亜塩素酸水溶液原液を水道水で自動希釈し、超音波噴霧器へ給水
- 希釈液を作成する作業が軽減されます



⚠ 重要

超音波ユニットは消耗品です

霧を発生させる超音波ユニットは消耗品です。振動子のみの交換も可能ですが、本機の能力を最高に保つためには、超音波加湿ユニット(駆動基板+振動子)の定期的な交換をおすすめします。【交換目安: 約5,000時間】

ご用命は販売店または星光技研サービスセンターへ

[製造元]



SEIKO GIKEN INC.

株式会社 星光技研

〒381-0012

長野県長野市柳原1573

[販売店]

星光技研 お客様サービスセンター

超音波噴霧器についてのお問い合わせはこちらまで

TEL 026-243-4055

【受付時間】

FAX 026-244-3455

月～金(土日祝を除く)

E-Mail: info@seiko-giken.jp

9:00～17:00

https://www.seiko-giken.jp

FAX・E-Mailは24時間受付